

ガーナ原子力関係者 日本招聘

JICC は 2024 年 7 月 2 日から 6 日の期間に、ガーナの原子力関係者を日本に招聘した。

【経緯/目的】:

2022 年 10 月日米両国政府が小型モジュール式原子炉(SMR)の導入でガーナと提携することを発表以来、日米両国はガーナに対し SMR 事業化調査支援や原子力人材育成支援等の国際協力を推進しており、原子力人材育成の一環として 2022 年度よりガーナ原子力関係者日本視察団招聘を行っている。本年もガーナ原子力委員会からの要請を受け日米両国の支援方針に基づきガーナ原子力関係者日本視察団招聘として、ガーナ原子力委員会(GAEC)、原子力組織(NPI)等で同国への原子力発電導入を牽引する幹部を日本に招聘し、日本の原子力安全技術及び原子力発電への取り組みを理解いただいた。尚、本招へいは IAEA から Scientific Visit としての支援を頂いている。

【結果】:

- ①ガーナ原子力委員会/原子力研究所副所長と調整し 10 名を日本に招聘した。
- ②米国 SMR/NuScale 社に出資している JGC・IHI を訪問し、同プロジェクトにおける日本企業の役割、ガーナへの導入検討状況について理解を深めていただくとともに、IHI 横浜工場(原子力機器工場)のご視察をいただいた。
- ③原電敦賀原子力発電所 2 号機及び原電美浜原子力緊急事態支援センター、福井原子力センターあっとほうむ、(株)原子力発電訓練センターのご視察をいただき、東日本大震災/福島を経験を踏まえた高度安全対策、再稼働準備状況や非常事態の際のバックアップ体制、PA 活動、原子力発電所を安全に運転するための運転員の訓練状況等について理解を深めていただいた。
- ④本招聘はガーナ現地メディアでもニュースとなった。

<https://thebftonline.com/2024/07/11/gaec-amps-up-nations-nuclear-power-journey-with-japan-visit/>



日本原子力発電(株)敦賀原発 2 号機



福井原子力センター あっとほうむ